NIPPON GOOD PARTS NGP News

全国整備工場の皆様へ
NGP組合員200拠点がお届けする
お役立ち情報

2019 No.334 1月号

2019年1月19日発行
■発行責任者／佐藤幸雄 ■編集・制作／(株)プロトリオス
■発行／(株)NGP 東京都港区高輪3丁目25番33号 長田ビル2F TEL03(5475)1200

定価／1部30円

理事長年頭のご挨拶

自動車リサイクル部品業界のリーダーとして、変革期を迎えた自動車業界におけるリサイクル業界に課せられた役割をしっかりと認識しカーアフターマーケット全体に寄与すべく努力して参ります！

NGP日本自動車リサイクル事業協同組合
理事長
佐藤幸雄

新年明けましておめでとうございます。年頭に当たり新年のお慶びを申し上げます。また旧年中は、弊組合に多大なるご支援を賜り、改めて感謝申し上げます。

昨年を振り返りますと、7月に発生した西日本を中心とする豪雨被害、9月には相次ぐ台風の上陸により、近畿地方を中心に大きな被害を受けました。また北海道胆振東部地震では震度7を記録するなど、全国各地で自然災害の脅威にさらされた一年でした。被災された全ての方々に、謹んでお見舞い申し上げます。一日も早い被災地の復興を心よりお祈り申し上げます。

自動車業界においては、「100年に一度という大変革」の時代に直面し、(C) コネクテッド、(A) オートノマス（自動運転)、(S) シェアリング、(E) エレクトリック（電動化）の4つの頭文字から「CASE（ケース）」と表現される新たなテクノロジーやモビリティサービス、そしてこれらに連動する欠かせない技術要素である人工知能（AI）をプラスした「CASE＋A」が、自動車産業に非常に大きな構造変化をもたらすことになると言われております。

それらの変化を受けて、自動車アフターマーケットを取り巻く環境も大きく変わり始めています。先進安全技術の普及に伴う事故修理の減少、リサイクル部品販売機会の減少、事故修理手法の変化とそれに伴う設備投資の必要性、車体素材の革新など、多くの課題が顕在化し始めました。更に2023年の空飛ぶクルマの実用化に向けたロードマップの発表、2024年からのOBD車検の実施など大変革の時代は我々の想像を超えるスピードで進んでおります。

今後、私たちNGPも自動車リサイクル業界だけで考えるのではなく、アフターマーケット全体を見据えた施策が重要であり、カーオーナーへ安心と安全をお届けする為の品質・サービスをあらためて考えていかなければなりません。その為にはあらゆる情報と知識、新たな技術の習得など積極的な活動が重要であり、大変革の時代に遅れを取らない柔軟な変化が必要です。

昨年開催した、「次世代自動車セミナー」では、自動車修理工場様を招き、将来の自動車業界の情報と知識習得を行いました。「スキャンツールセミナー基礎編・応用編」では、お客様に安心と安全を提供すること、自動車の電子化に対応することを目的に、リサイクル部品の更なる付加価値向上策として実施いたしました。今後も、将来を見据えた研修を強化して参ります。

社会貢献活動では、ベルマーク協賛企業として全国でのベルマーク運動説明会へ参加（昨年は全国99ヵ所の説明会中24ヵ所に参加しリサイクル部品のPRをベルマーク運動に参加しているPTA等に行いました)、地元小学生の社会科見学の一環として自動車リサイクル工場の見学会も実施いたしました。本年も全国ベルマーク運動説明会の参加と、社会科見学の受け入れ拡大を行い、地域貢献活動を強化していくとともに、自動車リサイクルの必要性を訴えかけていきたいと思います。

また、昨年は我々を支えていただいている自動車修理・整備工場の皆様への感謝の気持ちから、宝くじキャンペーン（NGPのリサイクル部品に貼付されているギャランティシールを集めて宝くじに応募するキャンペーン）を継続して行いました。合計3回実施し、回を追うごとに応募して頂ける会社様も増えています。今後も、感謝の還元として様々なキャンペーンを実施していきたいと考えています。

私たちNGPは、リサイクル部品の更なる品質の向上と、お客様ニーズを的確に捉える対応力の向上を通じ、自動車修理・整備工場の皆様の業務を支援することが使命だと思っています。

皆様のご協力をいただきながら、この大きな変革期を乗り越え、カーアフターマーケット全体の活性化に向けて尽力して参りたいと考えています。今後ともご支援ご指導を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

最後に、皆様のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

エコプロ2018、開催

Topics

NGPは13年連続で単独出展

大盛況のNGPブース

16万人が来場する
国内最大級の環境総合展

環境に関する総合展「エコプロ2018」が12月6～8日の3日間、東京ビッグサイト（東京都江東区）で開催されました。

20回目となる今回は「SDGs時代の環境と社会、そして未来へ」がテーマに設定されています。また今年から、インフラの老朽化対策やIoT、AIを活用したインテリジェント・インフラを対象とした「社会インフラテック2018」と同時開催されており、企業や自治体、学校などから650社・団体（1,450小間。前回616社・団体／1,414小間）が出展しました。

自動車関連では、生産工程における環境負荷低減の取り組みや、軽量化に向けた高張力鋼板や樹脂パーツの活用事例が紹介されています。また、さらなる軽量化及び環境負荷低減を目的とした新素材の開発状況の報告なども見られました。来場者数は3日間・両展合計で162,217人に上り、盛況でした。

NGPブースでは、
廃車王など各種サービスを紹介

NGP協同組合は同展に13年連続で出展しています。今年のブースは廃車買い取りサービス「廃車王」のPRをメインコンセプトとしてデザインしました。ブース内では全国で放映しているテレビCMの映像を流し、サービスの認知向上に努めています。

リサイクル部品の生産～出荷までの工程をVR（バーチャルリアリティ）で体験できる「バーチャル工場見学」コーナーでは、幅広い年齢層が来場することを想定し、子ども用のVRゴーグルを用意しました。校外学習の一環として訪れた小学生など多くの来場者がVRを体験し、リサイクル部品の生産手順や品質管理体制に対する理解を深めていました。

NGPリサイクル部品の実物展示コーナーでは、新品部品との価格比較を提示することで、リサイクル部品の使用が環境に優しいだけではなく、経済的にも大きなメリットであることをアピールしました。

NGP協同組合・総務広報委員会の杉之間大和委員長は、「エコプロは小中学生の来場も多い展示会であることに配慮し、子どもにも分かりやすいブース作りを心がけました。廃車王を前面に押し出したブース設計としたことで、効果的にサービスをPRできたと感じています。また、VRコーナーに対する反応が非常に良く、多くの方にリサイクル部品の品質についての理解を深めていただくことができました。今後も一般カーオーナーに対してリサイクル部品の品質を周知するための活動を継続し、その利活用を促進したいと考えています」と、出展の手応えと今後の方針について話しています。

NGP協同組合・総務広報委員会の杉之間大和委員長

NGPリサイクル部品の実物展示コーナーでは、その品質の高さに注目が集まった

バーチャル工場見学は老若男女問わず大人気

毎年恒例となった被災地支援募金にご協力いただいた方へエンブレムをプレゼントするコーナーでは、今回も多くの方から温かい支援が寄せられた

NGP組合員 かわら版

NGP組合員の工場を小学生が見学
未来を担う子どもたちへ、自動車リサイクル業界の取り組みを紹介

NGP協同組合は、協賛企業として加入しているベルマーク教育助成財団（銭谷眞美理事長）のWebサイトを通じて、組合員工場の見学を希望する小学校を募集しています。

このほど、鹿児島市内の小学校からの依頼を受け、小学校５年生の見学を受け入れました。組合員である(株)オートパーツ伊地知の工場を訪れた83人の小学生は、使用済み自動車の適正処理工程や部品生産工程などを見学しています。そして工場見学後には自動車リサイクルの流れについて説明する動画を視聴し、リサイクルに関する理解を深めました。

NGPは社会貢献活動の一環として、今後も工場見学の受け入れを継続して参ります。また工場見学を通じて、自動車リサイクル業界の取り組みやリサイクル部品の環境負荷低減効果を、未来を担う子どもたちへ伝えていきます。

NGP組合員 かわら版

スキャンツールセミナー上級編を開催
トラブルシューティングの実習を通じて、実践的な技能・知識を習得

12月10・11日の２日間、(株)あいおいニッセイ同和自動車研究所東富士センター（静岡県裾野市）にてスキャンツールセミナー上級編が開催されました。

上級編はDTCコードの意味やスキャンツールの基本的な機能について理解していることを前提に行われ、座学よりも実習中心のカリキュラムで構成されています。

実習はプリウス（W30系）を題材に行われました。まずデータモニター機能を使い、各種センサーの状態を用紙に記録しました。これは後のカリキュラムで予定されている故障探求時において、センサーの劣化などの判定に役立てる狙いがあります。その後、READY ONにならないケース、ダイアグコードは排出されないが駆動系チェックが必要なケースなど、車両ごとに設定された不具合の解決に挑戦しました。

２日間の研修を終えて、(株)草山パーツの東内信弥さんは「スキャンツールを使用して不具合を特定することは、部品生産においてとても重要な作業だと実感しました」と感想を述べています。

(有)オートパーツ片岡の藍島達也さんは「車の機能が多様化し、衝突被害軽減などの安全装置が充実したことで、回路や通信などが複雑化していることを認識しました」と、スキャンツールによるトラブルシューティング作業を通じて、最新車両の構造に対する理解を深めていました。

(株)オートパーツ幸城の佐藤伸さんは「今回習ったことを持ち帰り、日常的にスキャンツールを使用することで、使い方をマスターしたいです」と、普段の業務でスキャンツールを活用することで、さらなる技能の向上を目指す考えを示しています。

NGP 今月のCO_2削減量

リユース部品利用に伴うCO_2削減量

平成30年11月：**2,766t**

※自動車リサイクル部品産学共同研究会が、「自動車リサイクル部品による環境負荷低減効果の研究」の結果をもとに、NGPが販売したリユース部品の90品目（左右ある部品を含むと115品目）を対象に算出した数値です。

リターナブル梱包材利用に伴うCO_2削減量

平成30年11月：**2.4t**

※リターナブル梱包材の利用に伴う削減効果はNGP協同組合独自のCO_2排出量削減の取り組みです。段ボールに代えて、専用梱包材を繰り返し使用することを前提に削減効果を算出しております。

NGP組合員
かわら版

第45回自動車リサイクル部品産学共同研究会を開催

リユース部品及びリビルト部品生産時における CO_2 排出量に関する調査結果を報告

2013年5月より「リサイクル部品を使用して車を修理した場合、CO_2 排出量がどの程度削減できるのか？」を定量的に把握するため、NGPが富山県立大学及び明治大学と共同で進めている自動車リサイクル部品産学共同研究会は、12月17日に第45回目の会合を開催しました。

現在NGPの主要売れ筋部品の上位「90部品」（全体の91.4%）に関しては研究成果を公表しており、CO_2 削減数値をNGPシステムに搭載し、見積書や納品書など各種帳票に印字されるようになっています。今回行われた研究会では今期追加で調査を進めてきた新たなリユース部品31品目、リビルト部品3品目についての調査結果が報告されました。

同研究会は今後もリユース部品及びリビルト部品の使用による CO_2 排出量削減効果に関する研究を進めていくとともに、リサイクル部品が環境にやさしい根拠として研究内容を開示、発信していく方針です（研究の詳しい概要はこちら→http://www.nepp.jp/）。

NGP年末ジャンボキャンペーン当選者決定

9～11月の3ヵ月間に渡って開催した「NGP年末ジャンボキャンペーン」の抽選会を実施し、当選者が決定しました。

お送りいただいた応募用紙の総数は13,898通に上りました。たくさんのご応募、誠にありがとうございました。

年末ジャンボ宝くじ券の当選者は次の方々です。

■一等：年末ジャンボ宝くじ300枚
富山県 R・T様

■二等：年末ジャンボ宝くじ100枚
北海道 S・N様
宮城県 T・H様
愛知県 S・T様
静岡県 R・T様
大阪府 H・T様

■三等：年末ジャンボ宝くじ10枚
当選者994名様

3等の当選者の発表は賞品の発送をもって代えさせていただきます。

※当選の有無等のお問い合わせにはお答え致しかねます。ご了承ください。

抽選を行う
佐藤幸雄理事長

賞品の宝くじは
全部で10,740枚！

プレゼントクイズ

Q. これは、
どの車種の一部？

■NGPニュースNo.332（2018年11月号）プレゼントクイズの正解は三菱自動車工業のランサーエボリューションでした。埼玉県・福井県・大阪府在住の方3 名様に1 万円相当のクオカードをお送りします。今後も奮ってご応募ください。

クイズに正解した方の中から、抽選で3名様にクオカード1万円分をプレゼント！

下記の応募用紙に解答と必要事項を記入して、FAXにて「プレゼントクイズ」係までお送りください。
ご応募の締め切りは2月25日到着分までとさせていただきます。
正解はNGPニュース2019年3月号にて発表いたします。なお、当選者の発表は賞品の発送をもって代えさせていただきます。

「プレゼントクイズ」係 **応募用FAX番号 03-5475-1209**

解答	お名前	職業	電話番号	年齢	性別
				歳	男・女
住所：〒					
NGPニュースで取り上げてほしいテーマ：					

※ご記入いただいた内容は賞品の抽選・通知・発送のほか、今後の本サービスの参考とするためにのみ使用させていただきます。

NGP日本自動車リサイクル事業協同組合事務局
〒108-0074　東京都港区高輪3丁目25番33号　長田ビル2F
TEL:03-5475-1208　FAX:03-5475-1209
http://www.ngp.gr.jp/

株式会社NGP
〒108-0074　東京都港区高輪3丁目25番33号　長田ビル2F
TEL:03-5475-1200　FAX:03-5475-1201
http://www.ngp.co.jp/